

ディープテック・スタートアップ支援基金／国際共同研究開発

NEDO担当部：スタートアップ支援部
経済産業省担当課：イノベーション・環境局総務課国際室

概要

(1) 事業目的

- ・本事業は、技術の確立や事業化・社会実装までに長期の研究開発と大規模な資金を要し、リスクは高いものの国や世界全体で対処すべき経済社会課題の解決に資すると考えられる革新的な技術の研究開発に取り組んでいる「ディープテック・スタートアップ」を対象とする。
- ・国際連携による共同研究開発を支援することで、グローバル市場も視野に入れた、ディープテック・スタートアップの事業成長及びそれらが有する革新的な技術の確立・事業化・社会実装、それらに伴う新たな付加価値の創出を加速させることを目的とする。

(2) 事業内容

- ・日本側事業者と相手国側事業者による共同研究開発活動の支援にあたり、Eureka Globalstars の枠組みを活用し、NEDOが海外の研究開発・イノベーション支援機関と連携し、日本側事業者に対してはNEDOが、相手国側事業者に対しては当該国の機関が支援する「コファンド形式」で補助を行う。

【Eureka Globalstars】（多国間共同公募方式）



(3) 事業形態

事業期間：2023～2031年度 ※新規採択は2023年度～2027年度のみ
総事業費（NEDO負担分）：1,000億円の内数【基金】
支援形態：2/3補助 NEDO根拠法：第15条第3号及び第9号

政策・他事業との関連

NEDO第5期中長期計画に沿い、海外研究開発・イノベーション支援機関との協力関係を強化にするとともに、Win-Winの関係となるような連携の推進を図る。また、本事業は「ディープテック・スタートアップ支援基金／ディープテック・スタートアップ支援事業」のうち特に、海外市場への展開を目的として海外企業と行う共同研究開発を支援する。

達成目標

(1) アウトプット目標

原則、支援終了後1年以内に、次シリーズでの資金調達を実施した者の割合を5割にする。

(2) アウトカム目標

ディープテック・スタートアップの有する革新的な技術の確立・事業化・社会実装の加速と、ディープテック・スタートアップのエコシステムの成長に向けた支え手及びその連携の活性化を図る。

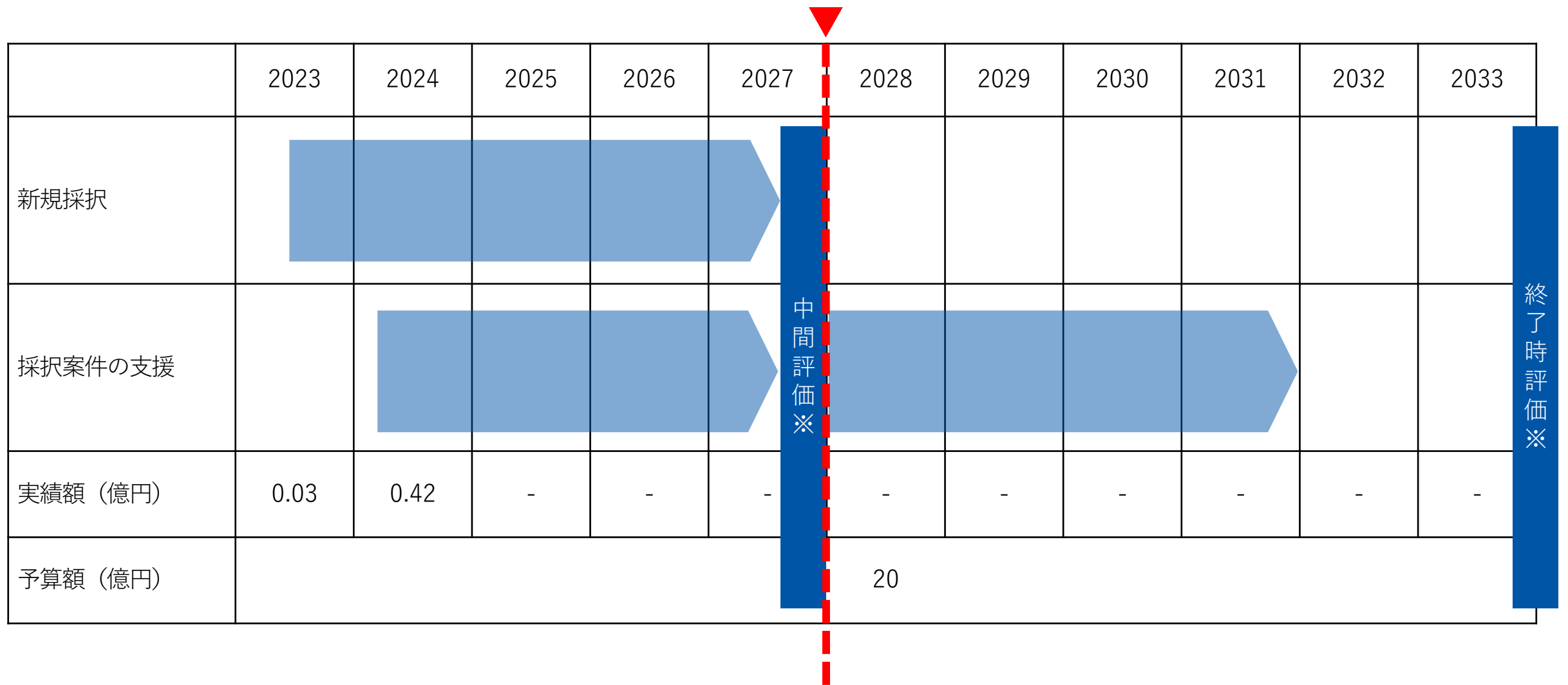
(アウトカム目標達成に向けての取組)

海外市場への展開を目的として海外企業との共同研究開発を希望するディープテック・スタートアップに対し、早期の技術普及、海外市場展開の実現に向けた国際連携による共同研究開発を支援し、日本と相手国双方の企業、研究機関、大学等が参加する研究開発を実施する。

実施体制

フェーズ名	テーマ名	実施年度	事業者名
国際共同研究開発	水産養殖向けAI自動給餌・遠隔モニタリングシステムの研究開発	2023年度	ウミトロン株式会社
	将来衛星ミッションのための商用光通信地上セグメントサービスの研究開発		株式会社インフォステラ
	Far-UVC LEDによるウイルス不活化・AIスマート換気システムの研究開発		株式会社BEAM Technologies
	医療僻地での包摂的なEPR (Electronic Patient Record) システムと連携した眼科医療機器の研究開発	2024年度	株式会社OUI
	中性原子量子コンピュータを用いた機密量子計算の開発		株式会社Nanofiber Quantum Technologies
	ヒト腸内細菌叢を模倣する人工便を培養する技術の研究開発		メタジェンセラピューティクス株式会社
	人工衛星に搭載する光モジュールの研究開発		アイオーコア株式会社

スケジュール



※DTSU基金事業においては、経済産業省が評価を実施する。